

地域とともに豊かな未来社会をデザインする大学を目指して！

ハイサイ！ 琉球大学学長の西田 睦です。本学とJTAとは2018年7月に地域社会の発展に寄与することを目的とした包括連携協定を結び、一緒になってさまざまな取り組みを行っています。



例えばJTA社員を本学の講師としてお招きし、沖縄における航空の役割や事業を通じた地域振興についてお話しいただいたり、学生提案型の商品開発を指導していただいたりと、特に教育面での連携が進んでいます。今年の3月には、本学の取り組みを紹介し、琉球大学を体感してもらうイベントとして、「琉球大学未来共創フェア2019」をはじめて開催しました。その際、JTAには本学との連携事業を紹介していただいたほか、お子さんを対象とした模擬操縦体験や客室乗務員体験を実施していただき、大盛況でした。

ここで改めて琉球大学のことを紹介します。本学は7つの学部、9つの大学院研究科、そして附属病院などを擁する国立の総合大学として、「地域とともに豊かな未来社会をデザインする大学」を目指し、幅広く教育・研究・地域貢献活動に取り組んでいます。特に地域特性を活かした生物多様性研究、海洋科学・島嶼地域科学研究、健康長寿科学研究、琉球・沖縄文化研究といった分野における成果は、世界的にも注目されています。

次号以降は、本学の成り立ちや特色ある教育・研究・地域貢献活動、本学発のブランド商品などを紹介していきますので、どうぞご期待ください。このコラムを通して、琉球大学を身近な存在と感じていただければ幸いです。



西原町にある広大な琉球大学のキャンパス



今年3月に開催した「琉球大学未来共創フェア2019」でJTAが行った模擬操縦体験